

# 多文化共生を

## 考える

現在、ヒトやモノ、経済などのグローバル化が進む中、在留外国人の数は増えており、本市でも4千人を超える外国人が暮らししています。また、外国籍ではなくても、外国にルーツを持つ人も多く暮らししています。

最近では、学校や職場などの「コミュニケーション」内だけではなく、「コンビニや通勤の電車の中、買い物をするスーパーなど、日常生活の様々な場面で外国人の姿を目にするようになりました。

皆さんは、周りに様々な国や地域にルーツを持つ人たちが増えている中、言葉や習慣などの違いに戸惑いや不安を感じたり、「分からないから」「私たちとは違うから」という理由で、壁を作ってしまうことはありませんか。

本市では多様性を認め合い尊重するまちづくりの中で多文化共生社会の実現を目指しています。「多文化共生」とは、国籍などの異なる人々が互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築くことしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことをいいます。

今回の特集では「多文化共生」をテーマに、本市の外国人に関する現状や、共に働く外国人と日本人に聞いた「コミュニケーションのコツ」、市の取り組みの紹介をしていきます。

皆さんもぜひこの機会に、本市に住む外国人のことを知り、多文化共生について考えたり、周りにいる外国人との関わり方のヒントとして下さい。

◎地域自治課(国際係)

TEL 050-550-0344・4717

## 沼津に住む外国人のこと 知っていますか？

(令和2年4月1日 住民基本台帳)

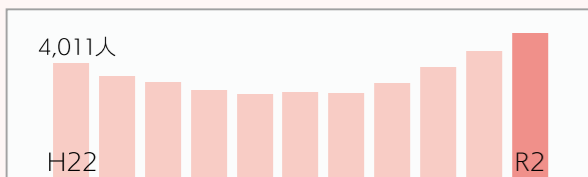


市内に住む外国人の数と推移

過去最高人数

# 4,527人

※平成24年までの資料は、外国人登録による。



市民のうち外国人が占める割合は2.3%、約40人に1人となります。過去10年間の推移では、東日本大震災などの影響による減少はありますが、近年は増加傾向にあります。

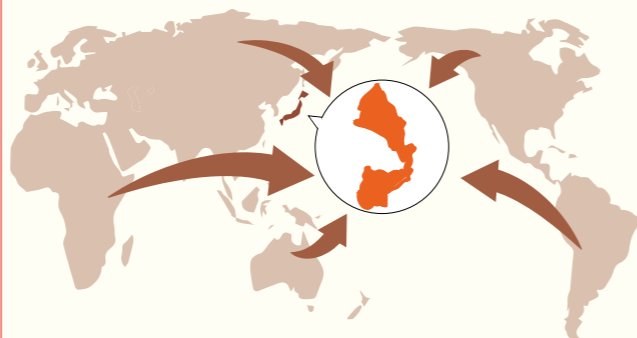
市内に住む外国人の年齢

# 0歳~96歳



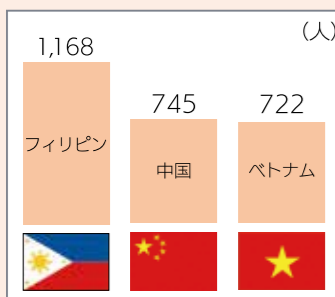
年代別に見ると、働き盛りの20~30歳代が最も多く、過半数を占めます。続いて40~50歳代が多いことから、働いたり子育てをする世代が多いと考えられます。

## 市内に住む外国人の国・地域数 60の国や地域

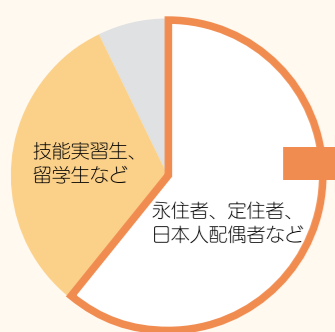


市内には、地域を問わず様々な国や地域の外国人が住んでおり、それだけ多様な文化に触れる機会があるといえます。

市内に住む外国人の国籍トップ3



フィリピンがトップで全体の4分の1、中国、ベトナムが6分の1を占めます。4位以降は韓国、ブラジル、ペルー、ネパールと続きます。



市内に住む外国人の在留資格別割合

# 61.3%

6割以上の外国人が、日本で暮らし続けることが見込まれます。

市立の小・中学校に通う外国人の数 **165人**

小学校は103人、中学校は62人の外国人の児童・生徒が通っています(令和2年5月1日 外国人児童生徒等就学状況調)。幼い頃から多文化共生は始まります。

